

(地方創生推進交付金事業)

**多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想
(上牧町放課後塾「まきっ子塾」) 検証資料**

平成29年11月6日

上牧町教育委員会

目 次

1. 事業実施の趣旨・目的	・・・・・・・・・・・・・・・・	1ページ
2. 事業内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	1ページ
3. 事業実績	・・・・・・・・・・・・・・・・	2ページ
4. 事業の分析	・・・・・・・・・・・・・・・・	3ページ
5. 事業の効果	・・・・・・・・・・・・・・・・	8ページ
6. 今後の展開	・・・・・・・・・・・・・・・・	8ページ
7. 検証結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	9ページ

1. 事業実施の趣旨・目的

近年、全国的に、子どもたちの家庭環境や貧困、そして、生活習慣の変化により、低学力化などが問題視されています。家庭教育は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、すべての教育の出発点でもあります。

子どもたちが、将来において大きく羽ばたくには、自ら学習に取り組み、様々な知識を身につけ、考える力を高め、自分を磨き、自信を持って行動することが大切です。

教育委員会では、そのような子どもに育ててほしい、また、少しでも自分の夢に羽ばたけるように手助けをしたいと考えています。

そこで、生活や学習習慣を身につける時期であり、今後の学力、体力及び規範意識の基礎をなす時期でもある、小学校1年生から3年生の児童を対象に、家庭学習の支援や家庭の負担軽減を目的に平成28年9月21日から放課後塾「まきっ子塾」を開催することになりました。

実施に際しては、町内の教職OBや幅広い世代の町民、町外の大学生を指導員として起用し、様々な学びを通じて、学力向上や家庭学習の癖付けだけでなく、地域全体で子どもを育てていく機運を醸成することで、子どもたちの郷土への愛着や規範意識を育むとともに、指導員の技術や能力を交流する子どもや若者に継承することも期待しています。

2. 事業内容

- 対象者・・・・・・・・上牧町内在住の小学校1年生から3年生
ただし、下校の安全を考えて、保護者が迎えに来られる児童に限られます。
- 場所・・・・・・・・在籍する小学校
- 日程・・・・・・・・毎週水曜日（春休み、夏休み及び冬休みはありません）
- 学習時間・・・・・・・・学校が終わってから、放課後にします（1時間程度）
*まきっ子塾終了後に学童保育に行かれる児童は学童保育所までお送りします。
- 指導内容・・・・・・・・①学校の宿題 ②早く終わった児童には、学習プリント
- 学習アドバイザー・・元教諭、教育大学の学生や将来教師を目指している大学生など
- 自己負担額・・・・・・・・なし

3. 事業実績

平成28年度 参加児童数

上牧小学校 65名
 上牧第二小学校 . . . 46名
 上牧第三小学校 . . . 76名

計 187名

平成28年度 放課後塾「まきっ子塾」 児童数

上牧小学校				上牧第二小学校				上牧第三小学校						
学年	組	性別	児童数	学年	組	性別	児童数	学年	組	性別	児童数			
1年	1組	男	6	1年	1組	男	2	1年	1組	男	8			
		女	5			女	6			女	8			
		計	11			計	8			計	16			
	2組	男	9		2組	男	2		2組	男	1			
		女	5			女	6			女	10			
		計	14			計	8			計	11			
	計				25	計			16	計			27	
	2年	1組	男		2	2年	1組		男	3	2年	1組	男	2
			女		9				女	5			女	6
計			11	計	8			計	8					
2組		男	7	2組	男		2	2組	男	3				
		女	3		女		7		女	5				
		計	10		計		9		計	8				
計			21	計			17	計				16		
3年		1組	男	3	3年		1組	男	3	3年		1組	男	10
			女	6				女	4				女	8
	計		9	計		7		計	18					
	2組	男	2	2組		男	3	2組	男		5			
		女	0			女	3		女		10			
		計	2			計	6		計		15			
	3組	男	4	計			13	計			33			
		女	4	総計			46	総計			76			
		計	8	計			19	計			65			
計			65	計			46	計			76			

平成28年度 学習アドバイザー登録数

上牧小学校 . . . 23名 上牧第二小学校 . . . 14名
 上牧第三小学校 . . . 20名 計 57名

平成28年度「まきっ子塾」実施回数

実施期間 平成28年9月21日から平成29年3月15日

上牧小学校・・・16回

上牧第二小学校・・・18回

上牧第三小学校・・・18回

(各学校行事により、回数は異なります)

事業費

総事業費 4,200,310円

<事業費内訳>

報償費・・・3,016,000円

旅費・・・252,655円

需用費・・・281,551円

役務費・・・310,052円

備品購入費・・・339,552円

*国庫補助金<地方創生推進交付金> 2,080,666円

(補助対象額≒ 4,161,334×1/2)

4. 事業の分析

アンケート結果(187名中122名回答)

<保護者向け>

「まきっ子塾」にお子さんが参加してどうでしたか?

・良かった・・・43.4%

・とても良かった・・・41.8%

・よくわからない・・・11.5%

お子さんが「まきっ子塾」に参加してよかったこと

・宿題をするように言わなくて済むようになった・・・46.7%

・親のゆとり時間が増えた・・・39.3%

「まきっ子塾」について

・もっと回数を増やしてほしい・・・45.1%

・今のままでよい・・・27.9%

・もっと時間を増やしてほしい・・・17.2%

平成28年度 まきっ子塾に関するアンケート 結果

122名分(187名中)

まきっ子塾にお子さんが参加してどうでしたか？

①【 51 】とても良かった ②【 53 】良かった ③【 14 】よくわからない 回答なし(4)

「とても良かった」「良かった」と答えた方にお尋ねします(当てはまる全てに○を付けて下さい)

- ①【 7 】学校の成績があがった
- ②【 16 】以前より勉強するようになった
- ③【 14 】以前より本を読むようになった
- ④【 8 】以前よりお手伝いをするようになった
- ⑤【 17 】子どもが積極的になった
- ⑥【 57 】宿題をするように言わなくて済むようになった
- ⑦【 23 】家族の会話が増えた
- ⑧【 48 】親のゆとり時間が増えた
- ⑨【 25 】その他

- ・親の目線とは違うまきっ子塾の先生にみてもらえることがよかった。
- ・ほめてもらったことが自信につながった。
- ・復習できてよい。
- ・子どもが楽しみにしている。
- ・友達と宿題をするのが楽しそう。
- ・帰ってきたら宿題が終わっている。
- ・宿題以外の勉強をしてくれる。

まきっ子塾について(当てはまる全てに○を付けて下さい)

- ①【 21 】もっと時間を増やして欲しい
- ②【 55 】もっと回数を増やして欲しい
- ③【 34 】今のままでよい
- ④【 28 】その他

- ・お迎えがない方が助かる。 ・近所の友達と帰れるようにしてほしい。
- ・たまに外遊び(運動場)も入れてみてはどうか。
- ・6年生までしてほしい。
- ・色々なプリント(難しいものや子どもの苦手なもの)をしてほしい。問題が簡単すぎる。
- ・丁寧に字を書くように指導してほしい。
- ・宿題を間違えたまま持ち帰るので、確認してほしい。

<児童向け>

「まきっ子塾」に参加してどうでしたか？

- ・とてもよかった 58.2%
- ・よかった 39.3%
- ・よくわからない 1.6%

「まきっ子塾に」参加してよかったこと

- ・学校の宿題が最後までできるようになった 46.0%
- ・違うクラスの子と勉強ができて嬉しい 46.0%
- ・もっといっぱい勉強したい 41.0%
- ・学校の勉強とは違うことを教えてくれるので楽しい . . . 40.2%
- ・勉強の間違いが減った 38.5%

「まきっ子塾」の先生について

- ・わかりやすく教えてくれる 63.1%
- ・まちがってもしからない 54.9%
- ・わかるまで教えてくれる 53.3%
- ・ていねいに教えてくれる 51.6%



以降のアンケートは、お子さんの意見や考えをご記入下さい

まきっ子じゅくにさんかしてどうでしたか？

- ①【 71 】とてもよかった ②【 48 】よかった ③【 2 】よくわからない 回答なし(1)

「とてもよかった」「よかった」とこたえた人におたずねします(あてはまるすべてに○をつけて下さい)

- ①【 56 】学校のしゅくだいが、さいごまでできるようになった
- ②【 32 】べんきょうがすきになった
- ③【 41 】べんきょうがたのしくなった
- ④【 47 】べんきょうのまちがいがへった
- ⑤【 56 】ちがうクラスの子ともべんきょうができてうれしい
- ⑥【 49 】学校のべんきょうとはちがうこともおしえてくれるのでたのしい
- ⑦【 39 】まきっ子じゅくでべんきょうしたことを早くおうちの人につたえたい
- ⑧【 11 】まきっ子じゅくでべんきょうしたことを学校でクラスの人にはなしたい
- ⑨【 50 】もっといっぱいべんきょうしたい
- ⑩【 13 】そのた

・先生が適度に厳しいからピシとなった。 ・宿題が早く終わる。
 ・折り紙などの手作りのご褒美がとても嬉しかった。 ・勉強がわからない時に教えてくれた。
 ・プリントをもっとしたい。 ・友達と勉強できるのが嬉しい。
 ・字が綺麗に書けるようになった。 ・もう少し難しいプリントをしたい。
 ・先生が優しくて好き。 ・もっと行きたかった(3年生)。
 ・とても楽しくて最高！ ・色々な先生に勉強を教えてもらうのが楽しい。

まきっ子じゅくの先生についておたずねします

- ①【 72 】とてもやさしい ②【 44 】やさしい ③【 5 】よくわからない 回答なし(1)

「とてもやさしい」「やさしい」とこたえた人におたずねします(あてはまるすべてに○をつけて下さい)

- ①【 77 】わかりやすくおしえてくれる
- ②【 63 】ていねいにおしえてくれる
- ③【 65 】わかるまでおしえてくれる
- ④【 67 】まちがってもしからない
- ⑤【 3 】そのた

・声がかきやすい。 ・花丸が嬉しい。 ・ヒントをたくさん教えてくれる。

まきっ子じゅくで、こまっていることや いやなことはありませんか？

- ①【 7 】ある ②【 114 】ない 回答なし(1)

「ある」とこたえた人におたずねします。よければどんなことかおしえてください。

・クラスがうるさい。 ・周りの子に答えを聞かれるのが嫌だった。
 ・お友達にイタズラをされることがある。 ・漢字のプリントを消されたりする。
 ・子どもたちが、アホとかバカとか言うてる。 ・乱暴な子がいる。いたら、勉強も嫌になる。
 ・学校とまきっ子塾の教え方が違って混乱する。

【分析】

保護者と児童に対しアンケートを実施し、187名中122名から回答をいただきました。おおむね高評価をいただき、保護者の方からは、「宿題をするように言わなくて済むようになった」「親のゆとり時間が増えた」という意見をたくさんいただきましたので、家庭の負担軽減に少しでも役に立てたのではないかと感じています。

児童からは、悪い意見はほとんどありませんでしたが、まきっ子塾で困っていることとして、「クラスがうるさい」「友達がイタズラをする」といった少数意見もありましたので、今後は、そういう児童に対して、どういう対処をしていくかということなど、アドバイザーともっと連携を図っていきたいと思います。

また、アドバイザーも子どもに会うのが楽しみになっており、担任の先生とは違う関係性を築き、子どもへの愛着も生まれています。アドバイザーと保護者が情報を共有し、信頼関係も生まれています。多世代交流による取組を通じて地域のつながりの希薄化に歯止めをかけ、子どもの地元への愛着を醸成することも引き続き必要です。

退職した元教諭等を指導員に起用することで、自活可能な高齢者を増やしつつ、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、地域づくりに向けて、高齢者が多世代と交流しながら、活躍する場と機会を創出する体制を構築することに今後も取り組みたいと思います。

5. 事業の効果

◆ 地方創生推進交付金実施計画における KPI（重要業績評価指標）

① まきっ子塾の指導員の数・・・「30人」

実績

まきっ子塾の指導員（学習アドバイザー）の数・・・「57人」

② 「上牧町まちづくり人財バンク」の登録者数・・・「18人」

実績

「上牧町まちづくり人財バンク」の登録者数・・・「15人」

6. 今後の展開 ※ 地方創生推進交付金事業として

◆ 事業費 9,540 千円

① 上牧町放課後塾「まきっ子塾」の実施

多世代交流による地域コミュニティの形成と位置づけ、継続して実施する。

② 事業自立化（創業）支援事業

アクティブシニアの活躍の場や生きがいづくりの一環として、創業支援を行うにあたり、地域の課題やニーズ等の把握とともに、多世代交流のなかで新たなアイデアの創出や機運の醸成につなげることを目的としたワークショップ及びセミナーを開催する。

③ 大学連携等による生涯学習の実施

大学連携等による知的資源を生かし、学生との交流、予防医学や先進的な健康支援など、学びと健康への支援として新たに取り組み、将来的に出前講座として地域に浸透させる人材の育成を図る。

④ アクティブシニア移住促進コンシェルジュの設置

都市圏のアクティブシニアの流入促進を目的として、移住の検討段階から移住後まで、アクティブシニアのニーズにトータルサポートサービスを提供するため、ワンストップ型の相談窓口を開設する。

7. 検証結果

- ◆ 達成度 A（目標よりも大きな成果が得られた）
- ◆ ニーズの方向性 B（現状と変わらない）
- ◆ 町関与の必要性 A（必要性が高い）
- ◆ 事業の見直し余地 B（見直す余地はあるが時間が必要）

※ 詳しくは、「上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」検証結果（事業評価及び進捗状況報告書）を参照ください。